

進路だより

加賀市立片山津中学校
第2号
2025年6月25日

推薦入試について知ろう！

◇「高校入試」とは？

各高校の体験入学・サマースクール等の申し込みもまもなく終わります。自分の将来を見据えて参加する学校を定めたのではないか？まずは、いずれ来る選択の時期に備え、しっかりと各高校の教育理念や雰囲気を感じてほしいです。

さて、原点に返ると「高校入試」とはどんなこと？「高校入試」とは、高校に進学するときに受ける入学試験のことですが、皆さんはよく理解しているでしょうか？入学試験では、志願者の中から、それぞれの高校が求められている力があると認められた人を選抜することです。その力を見るための試験が「高校入試」です。そして、「高校入試」には、「一般入試」と「推薦入試」の2種類があります。

「一般入試」は5教科の学力検査を行います。また、面接や実技などの適性検査を行う高校もあります。それらの結果をもとに総合的に判断し、入学者を選抜する方法です。

◇「推薦入試」とは？

「推薦入試」とは、その高校に進学したいという強い意志を持っている人の中で、推薦入試を受けたいという希望があり、各高校が提示している推薦要件も満たしていると中学校で判断された人だけが受けることができる試験です。

「推薦入試」では、学力検査を行わないで、推薦書・志願理由書・調査書の内容、面接や実技、作文等について総合的に判断し、合否の内定を行います。

石川県高等学校入学者募集要項には、推薦要件について以下のように記載されています。

(1) 全日制の課程の普通科（コースを除く）の推薦入試 <募集人数は募集定数の20%以内>

- ・推薦入試を志願できる者は、次の2点を満たし、中学校長の推薦を得た者とする。
 - ①推薦にふさわしい学力を有すること。
 - ②当該高等学校が定める推薦要件を満たすこと。

(2) 全日制の課程の普通科におけるコース、職業に関する学科、スポーツ健康科学科、地域創造科、演劇科及び総合学科の推薦入試 <募集人数は募集定数25%以内>

- ・推薦入試を志願できる者は、次の3点を満たし、中学校長の推薦を得た者とする。
 - ①当該学科（コース）を志願する動機、理由が明白かつ適切であること。
 - ②当該学科（コース）に対する適性、興味及び関心を有すること。
 - ③調査書に優れた点や長所の記録を有すること。

上記の記述の通り、推薦入試を志願できる者は、上記の①～③のような要件を満たすことに加え、中学校長の推薦を得る必要があります。これは、県内公立高等学校だけでなく、私立高校でも同様です。そのためには…、

【心得】 推薦入試の要件を満たし、中学校長の推薦を得るために頑張って取り組むこと。

1. 将来の進路（高校卒業以降）について明確な目的意識を持つこと。
2. 当該学科（コース）を志願する動機、理由が明白かつ適切であることを示すことができる。
3. 当該学科（コース）に対する適性、興味及び関心を有することを示すことができる。
4. 当該学校が定める推薦基準に見合うこと。
〔学業成績・部活動・特別活動（生徒会活動・ボランティアなど）の取り組み状況等〕
5. 学校における学習態度は意欲的かつ真面目に取り組んでいること。及び生活態度は規則正しく、きまりなどをきちんと守っていた生徒であること。

さらに、高校3年間を期待に応えて頑張ることができる生徒であることが、最低限の必要条件です。推薦で合格した生徒は、高校入学後も「推薦試験に合格し、入学してきた生徒」として見られます。「高校に合格が決まったから、もういいや。」という訳にはいきません。高校入学後も中学校の頃のような頑張りを継続する必要があります。

具体的には、学校生活の中で、次のようなことを意識して生活してください。

1 意欲的かつ真面目に学習に参加していること。

- ・真剣に授業に参加している。
- ・課題（宿題・まなびなど）にきちんと取り組み、期日を守って提出するなどしている。

2 規律正しい生活態度であること。

- ・時間を守る … 遅刻をしない。授業と休み時間の区別がきちんとされている。
- ・役割を果たす … 係の仕事や掃除など、自分に任せられた仕事をきちんとしている。
- ・礼を正す … 挨拶がしっかりとでき、周りの人に気を遣い、優しく接することができている。

言葉づかいにも気を配ることができる。

3 学校や社会のきまりを守っていること。

- ・学校に必要なないものを持ってこない。
- ・公の場で、迷惑をかける行為を行わない。

これらのこと、中学校生活できちんとできていることが一番です。そして、志望する高校ではどんなことを学習するのか、高校を卒業したらどんな進路選択ができるのかなど、高校のことがしっかりわかっていることも大事です。

「部活動推薦」というものがあります。これは、高校側から中学校長へ受験依頼のあった生徒のみ対象となります。高校から連絡があった場合、窓口担当の先生から保護者へ連絡します。部活動推薦の正式な手続きは校長と窓口を通して行われます。中学校が知らないものは正式な推薦ではありません。中学校の知らない間に、高校の顧問の先生から話があることは認められていません。部活動や校外活動の先輩からの「推薦してもらえるぞ」という声かけや、あたかも「高校の部活動の顧問が勧誘している」などの噂に惑わされないよう気をつけてください。そして、部活動推薦は高校側からの依頼であっても、中学校長の推薦であることに変わりありません。推薦されるには、学校生活がしっかりしていることが大切です。

最終的に、中学校から推薦されて「推薦入試」を受験すれば、必ず合格できるわけではありません。また、「推薦入試」で合格することを内定といい、正式な合格ではありません。その後の生活の様子などで内定を取り消される場合もあります。正式に合格が確定するのは一般入試の合格発表と同じ日になります。